

6年 算数「文字と式」導入

算数の授業で、子どもの興味・関心を引き出すかどうかは単元の導入にかかっているととっても過言ではありません！これから何を学ぶのか(学びたいのか)の見通しを持って学習に向かうことで学びが深まります。

子どもの言葉で学びをつなげる

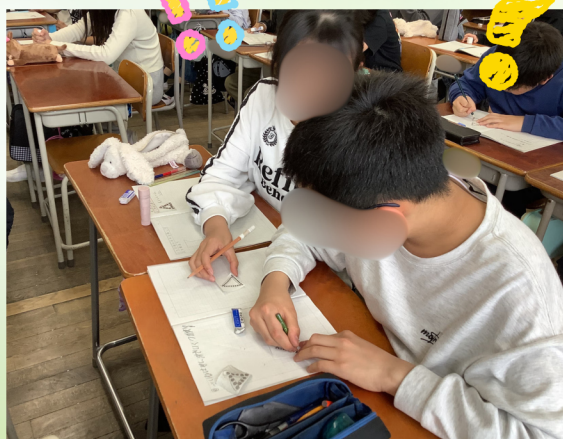
「この式はどう考えたの？」

「だれか言える人いる？」

先生は、子どもたちが理解しているかを確認しながら、どんどん問い返しをします。それに対して、子どもたちが言葉をつなげて学びを深めていきます。考えを伝えたり、説明したりするのは子どもたち。

「自分の言葉で言ってごらん。」

自分の考えだけではなく、友だちの考えも言語化することで多面的なものの見方も身につけていきます。



考えたい！
を引き出す

課題の設定

授業の中での課題設定は大事なポイント。難しすぎると、初めからやる気消失（特に原田の子は…）。簡単すぎてもつまらない。すぐにはわからないけど、なんとなくはわかるかも。もうちょっとでわかりそう。という絶妙な課題設定が子どものやる気に火をつけます。「あっ！できた！」「わかった！」の瞬間の子どもは最高に輝いています。思わず、友だちに「見て！」という姿。かわいいです。

つぶやきからの広がり

先生の素敵なところは、子どもたちのつぶやきやちょっとしたひらめきを大切にしているところ。子どもをつぶやきを流さずに拾い上げてみんなの学びへと広げていきます。そして、どんな考えも否定されない安心して発言できる温かい授業です。

ステキ
ポイント

